

QUICK GUIDE

クイックガイド

ユーザーのみなさまへ

この度は、FIAT 500eをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ・このクイックガイドでは、お車をお使いいただくための主な注意事項や推奨事項をご案内しています。
- ・このクイックガイドは、取扱説明書本編の詳細な内容に代わるものではありません。
- ・このクイックガイドは、イタリアで編集・作成されたものを基本に日本語版として制作しています。お車の装備や機能、操作方法は予告なく変更される場合があります。取扱説明書の内容と異なるときは常にお車の状態が優先されます。
- ・本取扱説明書で使用しているイラストは、本国仕様車および左ハンドル車のものを基本としています。イラストによっては、スイッチや部品の配置、操作方法などが異なる場合があります。
- ・本文中では、オプション装備品やタイプ別装備品によって、装備している車とそうでない車があるときに、〈装備車〉という記載で表現しています。
- ・このクイックガイドをお読みになった後は、すぐに参照できるように、また万一お車を売却する際にも車内に残せるように、車内に保管しておくことをお勧めします。

Stellantis ジャパン株式会社

www.fiat-auto.co.jp

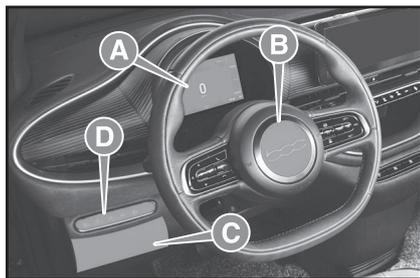


目次

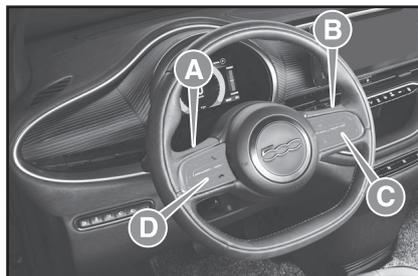
運転席	4	車両の始動	13	オートハイビーム	21
センターコンソール	5	車両の始動操作	13	方向指示灯	21
エアコンコントロールパネル	5	走行モード	14	ヘッドライト照射角度の調整	21
メーターパネル	6	「NORMAL」モード	15	チャイルドシート	22
ディスプレイ	6	「RANGE」モード	15	フロントエアバッグと チャイルドシート	23
警告灯/表示灯および警告 メッセージ	6	「SHERPA」モード	16	TPMS (タイヤ空気圧 モニタリングシステム)	23
キー	11	「TURTLE」モード (性能制限モード)	16	タイヤ空気圧が適正なとき	24
ドア	11	ワンペダルドライブ	17	タイヤ空気圧が低下したとき	24
パッシブエントリー	11	トランスミッション	18	充電	24
車内からドアを施錠/ 解錠する	11	運転支援システム	19	車両の充電ポート	25
車外からドアを施錠/ 解錠する	13	車外ライト	19	充電ケーブルの種類	26
緊急時に車内からドアを開く	13	ライトスイッチ	11	家庭での交流電源での充電	27
		デイトタイムランニングライト	20	充電手順	29
		AUTOモード-照度センサー	20	充電の完了	31
		ロービームヘッドライト	20		
		パーキングランプ	20		

公共充電ステーション(直流式) での充電手順-モード4	32	ヒューズの交換	42	【コントロール】	55
充電の完了	35	ダッシュボードの ヒューズボックス	45	【設定】	55
タイヤリペアキット	35	モータールーム内の ヒューズボックス	45	ウィジェット	55
概要	36	油脂類の補充量	48	ウィジェットの編集	55
タイヤリペアキットを 使用する前の準備	37	Uconnect	49	ページの追加、並び替え、 削除	55
タイヤに空気と シーラント剤を入れる	37	ディスプレイの グラフィックボタン	49	ホイールおよびタイヤ	56
タイヤ空気圧の点検と調整	39	ステアリング裏側のスイッチ	50	冷間時のタイヤ空気圧	56
バルブの交換	39	電源のオン/ オフ	51		
サイド方向指示灯	40	タッチスクリーン機能	51		
ロービームヘッドライト/ ハイビームヘッドライト	40	USBポート	51		
車幅灯/デイトタイムランニング ライト (DRL)	41	Apple CarPlayおよび Android Auto	52		
フロント方向指示灯	41	車両モード	52		
リアライトユニット	41	【電気自動車】	52		
リバーランプ/ リアフォグランプ	42				

運転席



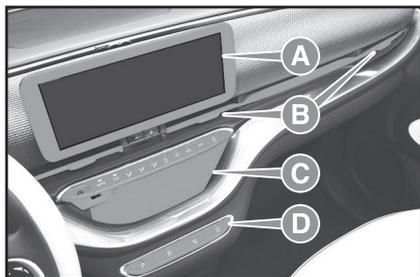
	名称
Ⓐ	メーターパネル
Ⓑ	ホーン
Ⓒ	ダッシュボードのヒューズボックス
Ⓓ	ステアリング横のスイッチ パーキングアシストの作動/解除 ESCの作動/解除 リアフォグランプ ヘッドライト光軸調整



	名称
Ⓐ	左側レバー 車外ランプ
Ⓑ	右側レバー フロントウインドーワイパー リヤウインドーワイパー
Ⓒ	 トラフィックジャムアシスト (TJA) の作動/解除  アダプティブクルーズコントロール (ACC) の作動/解除  クルーズコントロールの作動/解除  アダプティブクルーズコントロール (ACC) の距離設定  LIM スピードリミッター、インテリジェントスピードコントロール (ISC) の作動/解除

	名称
Ⓒ	SET +/- 設定、+/-スイッチ CANCEL キャンセルスイッチ RES RESUME (再設定) スイッチ
Ⓓ	 電話の受信  音声認識機能、Apple CarPlay/Android Auto  通話の終了

センターコンソール



名称	
Ⓐ	Uconnect
Ⓑ	エアコン送风口
Ⓒ	エアコンコントロールパネル USBポート ワイヤレスチャージングパッドモジュール
Ⓓ	シフトスイッチ

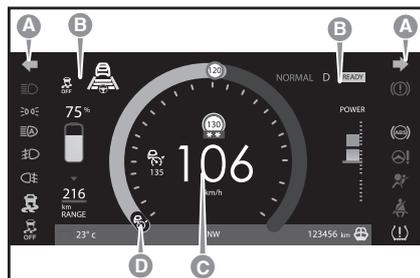
エアコンコントロールパネル



	温度設定スイッチ
AUTO	AUTOモードスイッチ
A/C	エアコンコンプレッサー作動/停止スイッチ
	前後の足元送风口からの送風
	中央/サイド送风口からの送風
	フロントウインドー/フロントサイドウインドー送风口からの送風
	デフロスタースイッチ
	リアデフロスタースイッチ
	内気循環スイッチ

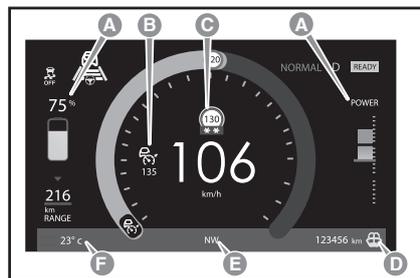
OFF	オフスイッチ
	送风量調整スイッチ

メーターパネル



	名称
A	警告灯
B	以下の通知エリア ・ 作動ギア ・ リアシートベルト着用状態 ・ ドライブアシスタンスおよびアクティブセーフティシステム
C	スピードメーター
D	マルチファンクションダイヤルインジケーター ・ スピードメーター ・ ドライブアシスタンスシステム表示

ディスプレイ



	名称
A	高電圧バッテリーの充電状態表示および走行可能距離
B	作動しているドライビングアシスタンスシステム表示
C	交通標識および速度制限表示
D	オドメーター / 表示灯 (黄色)
E	コンパス
F	外気温度表示 / 警告灯 (赤色)

警告灯 / 表示灯および警告メッセージ

- 警告 -

警告灯は、メーターパネルで作動するときに、関連するメッセージおよび警告音とともに点灯することがあります。これらの警告は、単に不具合などの発生を示し、防ぐためのものであり、警告灯のみですべてを判断することはできず、取扱説明書に記載されている情報に代わるものではありません。そのため、必ず取扱説明書を注意深くお読みください。不具合の発生が示されたときは常に、本項目に記載されている情報に注意してください。

- 警告 -

点灯の原因と対処法については、取扱説明書本編で詳しく説明していません。このクイックガイドでは、以降で簡単な対処法を説明しています。

表内の注記について

(*) フィアット正規ディーラーに連絡してください。

赤色の警告灯

警告灯	内容
	フロントシートベルトが着用されていない(シートベルトリマインダー)
	エアバッグに不具合がある(*)
	エレクトリックパーキングブレーキに不具合がある(*) / ブレーキフルードの量が不足している / エレクトリックパーキングブレーキが作動している
	電動パワーステアリングに不具合がある(*)

黄色の警告灯

警告灯	原因
	ESCが作動している/ESCシステムに不具合がある(*) / HHS (ヒルホールドシステム) に不具合がある(*)
	アクティブセーフティシステムの一部または全部が解除されている
	リアフォグランプが点灯している
	ABSに不具合がある(*)
	タイヤ空気圧が低下している / タイヤプレッシャーモニタリングシステムに不具合がある(*) / タイヤプレッシャーモニタリングシステムが一時的に作動しない状態になっている(*)

緑色の警告灯

警告灯	原因
	車幅灯およびロービームヘッドライトが点灯している / フォローミーホーム機能(ヘッドライト遅延消灯機能)が作動している
	左側方向指示灯が点灯している
	右側方向指示灯が点灯している
	オートハイビームが作動している

青色の警告灯

警告灯	原因
	ハイビームが点灯している

赤色のシンボル

シンボル	原因
 	ドア/ボンネット/テールゲートが開いている
	ドアに不具合がある (*)
	エアバッグに不具合がある (*)
	車両の充電作動に不具合がある (*)
	高電圧バッテリーに不具合がある (*)
	高電圧バッテリーの充電状態が低い (*)

シンボル	原因
	12Vバッテリーに不具合がある (*) /DC-DCコンバーターに不具合がある (*) /ロジスティックモードが作動している /電力供給モードになっている
	電子システムに不具合がある (*)
	性能が制限されている
	DAA (ドライバーアテンションアラート) が作動している
	EU eCallシステムに不具合がある<装備車>
	EU eCallシステムのバッテリーに不具合がある<装備車>
	トランスミッションに不具合がある (*)

黄色のシンボル

シンボル	内容
	車外ライトに不具合がある
	ブレーキに不具合がある (*)
	エレクトリックパーキングブレーキに不具合がある (*)
	パーキングセンサーに不具合がある<装備車>
	レインセンサーに不具合がある
	オートハイビームに不具合がある (*)
	トラフィックサインレコグニション (TSR) に不具合がある<装備車> (*)
	前面衝突警報が解除されている

シンボル	内容
	ブラインドスポットモニターに不具合がある (*)
	レーンキープアシスト (LKA) に不具合がある (*)
	路面が凍結している可能性がある
	イモビライザーに不具合がある (*) / 車内に侵入しようとした形跡がある
	点検整備時期 (定期点検) の期限が過ぎている
	DAA (ドライバーアテンションアラート) に不具合がある (*)
	オーディオシステムに不具合がある
	インテリジェントスピードコントロール (ISC) / スピードリミッターに不具合がある (*)

シンボル	内容
	アダプティブクルーズコントロール (ACC) に不具合がある <装備車> (*)
	前面衝突警報に不具合がある (*)
	キーレス Enter'N Go に不具合がある
	高電圧バッテリーの接続が外された (*)
	照度センサーに不具合がある (*)
	ブレーキペダルを踏む必要がある
	車両接近通報システムに不具合がある (*)
	フロントウィンドウウォッシャー液レベルが低下している

緑色のシンボル

シンボル	内容
	システムの準備が整っている (発進できる状態)
	充電ケーブルが接続されている
	"HOLD 'N' GO"機能が作動している
	スピードリミッターが作動している
	インテリジェントスピードアシストコントロール (ISC) が作動している
	クルーズコントロールが作動している
	アダプティブクルーズコントロール (ACC) が作動している
	インテリジェントアダプティブクルーズコントロールが作動している

青色のシンボル

シンボル	内容
NORMAL RANGE SHERPA	走行モード
	制限速度を超えている

白色のシンボル

シンボル	内容
	ヘッドライト光軸角度
	クルーズコントロールが待機状態である
	アダプティブクルーズコントロール (ACC) が待機状態である
	インテリジェントアダプティブクルーズコントロールが待機状態である
LIM	スピードリミッターが待機状態である

シンボル	内容
	インテリジェントスピードアシストコントロール (ISC) が待機状態である
	制限速度を超えている

灰色のシンボル

シンボル	内容
	クルーズコントロールをONにした
	アダプティブクルーズコントロール (ACC) をONにした
	インテリジェントアダプティブクルーズコントロールをONにした
LIM	スピードリミッターをONにした
	インテリジェントスピードアシストコントロール (ISC) をONにした

ディスプレイの故障

メーターパネルが故障したときは、すべての警告灯が点滅します。

コントロールシステム警告灯の故障

コントロールシステムの警告灯が故障したときは、メーターパネルにメッセージが表示されます。

キー



- 警告 -

キーには小型の電池が収納されています。電池を飲み込まないでください。化学物質による火傷の危険があります。わずか2時間で重度の内部火傷を起こして死に至る可能性があります。新しい電池や使用済みの電池は子供の手の届かないところに保管してください。

電池収納部を確実に閉じることができないときは、使用を中止し、子供の手の届かないところに保管してください。

飲み込んでしまったときは、ただちに医師の診断を受けてください。

また、意図せず電池が取り出されるのを防ぐため、エマージェンシーキーを使用したあとはすぐにキーへ収納してください。



- 注意 -

ワイヤレスチャージングパッドモジュールの充電部に車両のキーを置かないでください。誤作動により、誤って車両へアクセスできたり、システムを始動できるおそれがあります。

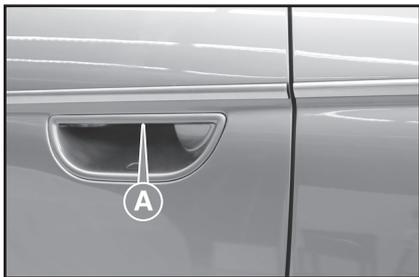
ドア

パッシブエントリー



- 注意 -

パッシブエントリーのキー検知システムの作動は、外部機器（携帯電話など）からの電磁波の干渉や、キーの電池の状態、キーや車両の近くにある金属物の存在など、さまざまな要因に左右されます。パッシブエントリーが作動しない場合は、リモコンキーの  スイッチを押すか、エマージェンシーキーを使用して解錠できます。



パッシブエントリーは、ドアやテールゲートの近くにキーがあるかどうかを検知します。

パッシブエントリーにより、左右いずれかのドアハンドル **A** を引くと、リモコンキーのスイッチを押すことなく、ドアおよびテールゲートを施錠/解錠できます。

車内からドアを施錠 / 解錠する



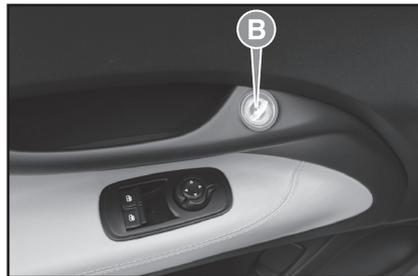
車内から施錠 / 解錠する

センターコンソールにあるスイッチ **A** でドア（およびテールゲート）を施錠/解除できます。

スイッチ **A** の表示灯が点灯しているときは施錠されていることを示しています。

ドアが施錠されているときにスイッチ **A** を再度押すと解錠され、スイッチ **A** の表示灯は消灯します。

ドアを解錠して開く



ドアにあるスイッチ **B** を押すことで、ドアを解錠し、開くことができます。

仕様により、ドアのスイッチを押すことでそのドアが開き、同時に他のドアとテールゲートが解錠します。

走行速度が5km/h以上のとき、2秒の間にスイッチ **B** を3回押すとドアが開きません（走行中に不意にドアが開くことを防ぐため）。走行速度が5km/h未満のときは、スイッチを1回押すとドアは開きます。

ドアが施錠されているときはスイッチ周囲の表示灯が赤色に点灯し、ドアが解錠されているときは表示灯は消灯します。

車外からドアを施錠 / 解錠する

車外から施錠する

ドアが閉じているときに、リモコンキーの  スイッチを押します。

いずれかのドアまたはテールゲートが開いているときにキーの  スイッチを押すと、開いているドアやテールゲートを含め、すべてが施錠されます。

開いているドアやテールゲートを閉じると、それらは施錠されます。



- 注意 -

車両を施錠するときは、車内にキーを置き忘れることを防ぐために、キーを携帯していることを確認してください。キーを閉じ込めてしまったときは、他のキーでのみ解錠できます。

車外からドアを解錠する

キーの  スイッチを押します。

緊急時に車内からドアを開く



リモコンキーやウェアラブルキー<装備車>または車両の12Vバッテリーの電圧が低下したときなど、リモコンキーやウェアラブルキーが作動しないときは、フロントドアにある緊急レバー  を引くことで車内からドアを開くことができます。

車両の始動

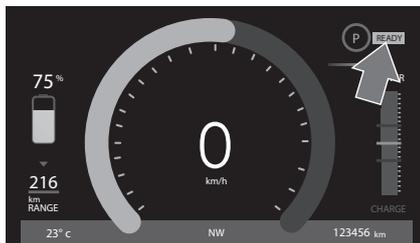
車両の始動操作



- 警告 -

イグニッション位置をRUNにするまでは、電子油圧式ブレーキシステムは作動しません。そのため、ブレーキペダルの踏み込み量が通常よりも大きくなるがありますが、異常ではありません。

1. エレクトリックパーキングブレーキが作動していることを確認します。
2. シフトポジションがPまたはNになっていることを確認します。
3. アクセルペダルを踏むことなく、ブレーキペダルを踏みます。
4. イグニッションスイッチを約2秒間押し続けて保持してから、放します。



始動操作が完了すると、確認音が鳴り、メーターパネルにREADY表示灯が表示されて、車両の電気駆動システムが始動したことを示します。READY表示灯が表示されると、車両は発進する準備ができています。

- 警告 -

正しい始動操作を行っても、メーターパネルにREADY表示灯が表示されないときは、フィアット正規ディーラーに連絡してください。

- 注意 -

ブレーキペダルを踏まずに車両を始動しようとする、ディスプレイに関連するメッセージが表示されます（取扱説明書本編「メーターパネルと表示灯、警告灯」章の「警告灯とメッセージ」の項目をご覧ください）。この場合は、ブレーキペダルを踏んで、車両の始動操作を繰り返してください。

- 注意 -

車両の始動操作を行っても、トランスミッションに不具合がある場合は、「Delayed start-up」操作を行ってください（取扱説明書本編「メーターパネルと表示灯、警告灯」章の「警告灯とメッセージ」の項目をご覧ください）。ブレーキペダルを踏みながら約7秒間イグニッション位置をRUNにして、モーターを起動します。システムは「リカバリー」状態のままになります。モーターが起動しない場合は、フィアット正規ディーラーに連絡してください。

走行モード

- 警告 -

どのような状況でも、モーターによるブレーキは、ブレーキペダルを踏むことの代わりにはなりません。

- 警告 -

悪天候および道路の冠水により水面がホイールリムの下部を超える場合は、冠水している道路を走行しないでください。

- 警告 -

車両から離れる前に必ずシフトポジションをPにしてエレクトリックパーキングブレーキを効かせ、イグニッション位置をOFFにしてください。危険をもたらす、または重大な傷害のおそれがあります。



走行モードセレクター^Aを操作することにより、以下の3つの走行モードを設定できます。

- ・ NORMAL (ノーマル)
- ・ RANGE (レンジ)
- ・ SHERPA (シェルパ)

このセレクターにより、電子装備経由で走行制御システム(モーターやESCシステム)が制御されます。

セレクターは「保持して操作する」タイプで、指をはなすと中立の位置に戻ります。走行モードを変更すると、変更された走行モードがメーターパネルに数秒間表示されます。

「NORMAL」モード

「NORMAL」モードでは、性能の制限はなく、駆動システムのすべての出力とトルクを使用して、速い速度で走行できます。このモードでは、車両のエネルギー消費は運転スタイルによって左右されます。「NORMAL」モードでは、アクセルペダルを放すと、従来の車両と同じようにモーターブレーキ効果を効かせながら減速します。この状況では、高電圧バッテリーは部分的に再充電されます(回生)。

「NORMAL」モードでは、シフトポジションがDに入っているときに車両の停止状態を維持するためには、ブレーキペダルを踏みます(「ワンペダル走行」は作動しません)。

また、クリーブ機能を使用することもできます。ブレーキペダルを放したときは、アクセルペダルを踏まなくても、車両は前方(シフトポジションがDのとき)または後方(シフトポジションがRのとき)に進みます。

「RANGE」モード

「RANGE」モードでは、「NORMAL」モードと同様に走行速度の制限はありませんが、アクセルペダルの踏み具合に対するよりスムーズな反応により、快適な走行が可能になります。このモードは、走行可能距離を長くすることに目的を置いたドライビングスタイルを行なう支援を行いません。



- 注意 -

「RANGE」モードでは、アクセルペダルのみによるワンペダル走行が可能になります。この場合、アクセルペダルを操作するだけで車両は加速および減速し、そして停車します。取扱説明書本編「始動と走行」章の「ワンペダル走行」の項目をご覧ください。



- 注意 -

「RANGE」モードでは、クリーブ機能は作動しません。

「SHERPA」モード

「SHERPA」モードでは、車両の加速には制限はありませんが最高速度が電子的に80km/hに制限されます。「SHERPA」モードは、最大の効率および最大の走行可能距離に目的を置いたドライビングスタイルの支援を行いません。

エアコンおよびシートヒーターは自動的に停止しますが、必要な場合は手動で再作動できます。



- 注意 -

「SHERPA」モードでは、クリーブ機能は作動しません。



- 注意 -

シフトポジションがDに入っていて車両が停車している状態のワンペダル走行では、停車状態を保持するためにブレーキペダルを踏む必要はありません。

「TURTLE」モード（性能制限モード）

残りの走行可能距離が24km以下になると、自動的に「TURTLE（タートル）」モードが作動しますが、「TURTLE」モードは、アクセルペダルを素早くいっぱいまで踏む（キックダウン機能）ことにより、緊急的な状況（交差点を通過するときなど）では、速度制限が一時的に解除されます。

走行可能距離が24～16km

- ・メーターパネルの黄色の高電圧バッテリー充電状態表示灯  が赤色で点滅します。
- ・選択されているモード（NORMAL、RANGE、SHERPA）に応じた速度制御になります。
- ・リアデフロスター、ワイパー、ヒートッド電動ドアミラー、電動シートは自動的に停止します（ただし、必要な場合は手動で再作動できます）。

走行可能距離が16～8km

- ・メーターパネルの赤色の高電圧バッテリー充電状態表示灯  が点灯したままになります。
- ・選択されているモード（NORMAL、RANGE、SHERPA）に応じた速度制御になります。
- ・リアデフロスター、ワイパー、ヒートッド電動ドアミラー、電動シートは自動的に停止します（ただし、必要な場合は手動で再作動できます）。

走行可能距離が8～0km

- ・メーターパネルの赤色の高電圧バッテリー充電状態表示灯  が点灯したままになります。
- ・最高速度が70km/hになります。
- ・エアコンは停止しますが、送風ファンやデフォグラーは作動します。リアデフロスター、ワイパー、ヒートッド電動ドアミラー、電動シートは自動的に停止します（ただし、必要な場合は手動で再作動できます）。

走行可能距離がほぼ0km（緊急の状況）

- ・メーターパネルの赤色の高電圧バッテリー充電状態表示灯  が点灯したままになり、走行可能距離の位置に  アイコンが表示されます。
- ・最高速度が70km/hになります。
- ・エアコンは停止しますが、送風ファンやデフォグラーは作動します。リアデフロスター、ワイパー、ヒートッド電動ドアミラー、電動シートは自動的に停止します（ただし、必要な場合は手で再作動できます）。



- 注意 -

スピードリミッターまたはクルーズコントロールが作動しているときは、「TURTLE」モードの速度制限は作動しません。



- 注意 -

「TURTLE」モードでは、エアコンシステムの一部の機能が使用できない場合があります。このときは、エアコンシステムのLEDが点滅します。

ワンペダルドライブ

「RANGE」モードおよび「SHERPA」モードでのワンペダルドライブにより、アクセルペダルを操作することで車両の減速を制御し、完全に停車させることもできます。

アクセルペダルを急に放すと、急激に減速します。アクセルペダルをゆっくり放すと、車両の減速を調整できます。



- 警告 -

ワンペダルドライブが作動しているときに運転者がシートベルトを外した状態で運転席ドアを開くと、自動的にシフトポジションがPになり、エレクトリックパーキングブレーキが作動します。

希望の速度になるまで、アクセルペダルを踏みます。ワンペダルドライブによる減速により、最大限に回生可能なブレーキ効果が得られ、車両の効率を高める支援になります。

ワンペダルドライブが作動しているとき、以下の状態になるとエレクトリックパーキングブレーキが自動的に作動する場合があります。

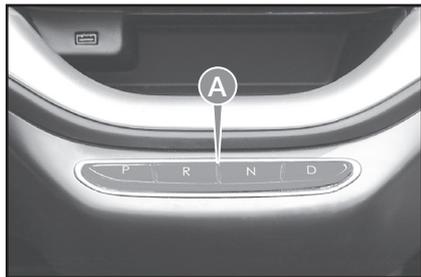
- ・傾斜路に停車したとき
- ・運転席ドアを開いたとき
- ・約5分以上停車しているとき
- ・駆動システムに不具合が発生したとき

走行を再開するためには、アクセルペダルを踏むと、エレクトリックパーキングブレーキが自動的に解除されます。

停車後に車両が押されたときや電気モーターに不具合が発生したときは、ワンペダルドライブによりシフトポジションがPになる場合があります。

トランスミッション

この車両は、トランスミッションを使用して、電気モーターが発生させた駆動力を伝達します。トランスミッションは、従来のシフトレバーではなく、スイッチを押すことで操作を行います。



シフトスイッチ **A** は、ダッシュボード下部にあります。

- 警告 -

ブレーキペダルをいっぱいまで踏んでいるときにのみ、シフトポジションを変更してください。

- 警告 -

車両が意図せず発進すると、乗員や車両の周囲にいる人がけがをするおそれがあります。メーターパネルにREADY表示灯が表示されているときは、車両から降りないでください。車両から離れる前に、エレクトリックパーキングブレーキを作動させ、シフトポジションをP（パーキング）にして、イグニッション位置をOFFにしてください。これにより、車両が意図せず発進するおそれなくなります。

- 警告 -

車両から離れるときは、必ずイグニッション位置をOFFにして、すべてのドアとテールゲートを施錠してください。

- 警告 -

付き添いのない状態で子供を車内に残さないでください。また、ドアを解錠したまま、子供が乗り込みやすい場所に車両を置いたままにしないでください。子供が致命的なけがをするおそれがあります。また、子供が意図せずエレクトリックパーキングブレーキやブレーキペダル、シフトスイッチを操作しないように注意してください。

- 警告 -

キーを車内や車両の近く（または子供の手の届くところ）に放置しないでください。子供がパワーウィンドーや他のスイッチを操作したり、車両を発進させるおそれがあります。



- 注意 -

以下の注意に従わないと、トランスミッションに重大な損傷を及ぼすおそれがあります。車両が完全に停車しているときにのみ、シフトポジションをPにしてください。また、車両が完全に停車しているときにのみ、シフトポジションをRにしたり、Rから動かしてください。シフトポジションを変更する前に、ブレーキペダルをいっぱいまで踏んでください。



- 注意 -

シフトポジションをPから動かすときは、ブレーキペダルをいっぱいまで踏んでください。



- 注意 -

イグニッション位置をONまたはRUNにしたときに、すべてのシフトスイッチの表示灯が点灯するときは、フィアット正規ディーラーに連絡してください。

運転支援システム

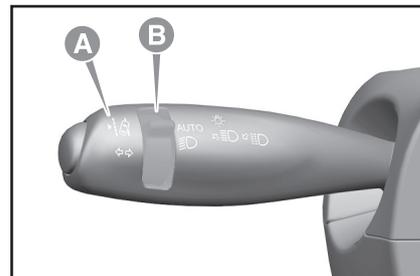


- 警告 -

運転支援システムは運転者の支援を行なうシステムであり、運転者は走行中は常に周囲の状況に注意を払わなければなりません。運転に関しての責任は常に運転者にあり、安全に走行するために周囲の交通状況を考慮しなければなりません。運転者は常に、先行車両との安全な距離を確保しなければなりません。

車外ライト

ライトスイッチ



左側レバーで車外ライトの多くの機能进行操作できます。

車外ライトは、イグニッション位置がONまたはRUNのときに点灯できます。

デイトタイムランニングライト



- 警告 -

デイトタイムランニングライトは、夜間走行およびトンネル内の走行でロービームヘッドライトの代わりになるものではありません。

デイトタイムランニングライトは以下のときに点灯します。

- ・ 車両の周囲が明るいとき
 - ・ ライトスイッチがAUTOのとき
 - ・ イグニッション位置をRUNにした
 - ・ エレクトリックパーキングブレーキを解除した
 - ・ シフトポジションをDまたはRにした
- イグニッション位置をOFFにするまでは、デイトタイムランニングライトは点灯したままになります。

AUTOモード - 照度センサー

AUTOモードでは、フロントウィンドー上部にあるレインセンサーと共用の赤外線LED照度センサーを使用します。Uconnectで設定されているライト感度に基づいて、車外の明るさを検知します。(別冊「Uconnect」取扱説明書の「車両モード」にある「設定」をご覧ください)。感度が高くなるほど、ライトを点灯させるために必要な光量は少なくなります。

AUTOモードを作動させる

イグニッション位置がRUNのときにライトスイッチ  をAUTOの位置にまわします。

これにより、周囲の明るさが暗いときは、車幅灯とロービームが自動的に点灯し、周囲が明るいときはデイトタイムランニングライトが点灯します。ライトスイッチ  を  の位置にまわすと、手でロービームヘッドライトを点灯できます。

センサーが故障した場合は、車幅灯、ロービームヘッドライトおよびナンバープレートランプが自動的に点灯します。

ロービームヘッドライト

イグニッション位置がRUNのときに、ライトスイッチ  を  の位置にします。

ロービームヘッドライトが点灯すると、メーターパネルの  表示灯が点灯します。

ロービームヘッドライトが点灯しているときは、デイトタイムランニングライトは減光し、車幅灯として点灯します。

パーキングランプ

イグニッション位置がOFFのときに、ランプスイッチ  をAUTOの位置から  の位置にすると、車幅灯とナンバープレートランプが点灯します。このときは、メーターパネルの  表示灯が点灯します。

車幅灯が点灯したまま運転席ドアを開いた場合は、警告音が鳴り、車両のライトが点灯したままであることを示す警告メッセージがディスプレイに表示されます。運転席ドアを閉じると、警告音は停止し、メッセージも表示されなくなります。

オートハイビーム<装備車>

反対方向に対向してくる車両があるとき、または同じ方向で他の車両に追走しているときに、他の道路使用者を眩惑させないためにハイビームが自動的に解除されます。

この機能はUconnectで作動させることができます(別冊「Uconnect」取扱説明書の「車両モード」にある「設定」をご覧ください)。

オートハイビームを作動させる

ライトスイッチ[Ⓑ]をAUTOの位置にして、左側レバーをダッシュボードの方向に押します。オートハイビームが作動すると、メーターパネルの[Ⓔ]表示灯が点灯します。

実際にハイビームヘッドライトが点灯すると、メーターパネルに[Ⓔ]表示灯も点灯します。

走行速度が約40km/h以上でオートハイビーム機能が作動しているときに、左側のレバーを元の位置に戻すとハイビームは消灯します。

オートハイビームが作動しているときに走行速度が約15km/h以下になると、ハイビームが消灯します。

方向指示灯

左側のレバーを以下のように動かします。

上方に動かす：右側の方向指示灯が点滅します。

下方に動かす：左側の方向指示灯が点滅します。

メーターパネルの[↔] または [↔] 表示灯が点滅します。

車両が直進状態に戻る(か、左側レバーを最初の手ごたえがあるところ(約半分)まで戻す)と、方向指示灯は消灯します。

レーンチェンジ機能

レーンチェンジを行なうときに方向指示灯を点滅させたいときは、レバーを最初の手ごたえがあるところ(約半分)まで動かします。

選択した側の方向指示灯が5回点滅し、その後自動的に消灯します。

ヘッドライト照射角度の調整



ダッシュボード右側(右ハンドル車)のコントロールスイッチにあるスイッチ[Ⓐ]またはスイッチ[Ⓑ]を押します。

照射角度はメーターパネルに表示されます。

以下の表を参考に調整してください。

位置	乗車状態
0	フロントシートに1人または2人の乗員が乗車しているとき
1	4人の乗員が乗車しているとき
2	4人の乗員が乗車していて、トランクルームに荷物を積載しているとき
3	運転者のみが乗車していて、最大限の荷物をトランクルームのみに積載しているとき

チャイルドシート

-警告-

チャイルドシートは、正しく固定されていないと十分に保護効果を発揮しません。事故のときチャイルドシートの固定が緩んで、子供が致命的なけがをするおそれがあります。チャイルドシートは、必ず付属している取扱説明書に従って取り付けてください。

-警告-

チャイルドシートに子供を乗せていないときは、チャイルドシートをシートベルトやISOFIXアンカーで確実に取り付けるか、車外に降ろしてください。固定せずに車内に乗せておくと、急ブレーキや事故のときにチャイルドシートが投げ出され、乗員がけがをするおそれがあります。

-警告-

チャイルドシートを取り付けた状態でシートを調整しないでください。シートを調整するときは、必ずチャイルドシートを取り外してから行ってください。

-警告-

ISOFIXチャイルドシートが3点のアンカーに確実に取り付けられていない場合は、事故のとき子供を保護することができず、致命的なけがをするおそれがあります。

-警告-

チャイルドシートは、車両が停車しているときに取り付けてください。正しく取り付けられると、「カチッ」という音がします。チャイルドシートの取り付け/取り外しおよび取り付け位置は、必ず製品に付属している取扱説明書に従ってください。

-警告-

シートベルトの胸部を通る部分を、子供の腕の下や背中後ろに通さないよう注意してください。事故のとき、シートベルトが正しく子供を保護できず、致命的なけがをするおそれがあります。シートベルトは常に正しく着用してください。

-警告-

同じ下部アンカーを使用して複数のチャイルドシートを取り付けしないでください。

-警告-

チャイルドシートを取り付けるときは、チャイルドシートに付属している取扱説明書に従って正しく取り付けてください。

衝突時に最適な保護性能を得るためには、新生児や子供も含め、すべての乗員が着席し、適切な保護システムを着用する必要があります。

⚠ - 警告 -

助手席に後ろ向きに取り付けるタイプのチャイルドシートを取り付けしないでください。衝突の強さに関わらず、事故のとき、エアバッグの作動により子供が致命的なけがをすることがあります。子供を乗せるときは、チャイルドシートを使用して、事故のときの安全性が最も高い後席に乗せてください。

⚠ - 警告 -

後ろ向きに取り付けるタイプのチャイルドシートを助手席に取り付けることを禁止する内容のラベルが助手席側サンバイザーに貼付されています。ラベルの指示に必ず従ってください。詳しくは、取扱説明書本編のエアバッグの項目をご覧ください。

⚠ - 警告 -

チャイルドシートに子供を乗せているときに、チャイルドシートを取り付けたフロントシートを動かさないでください。

フロントエアバッグとチャイルドシート

後ろ向きに取り付けるタイプのチャイルドシートは、絶対に助手席に取り付けしないでください。事故のとき、エアバッグの作動により、子供が致命的なけがをすることがあります。



常に、助手席側サンバイザーに貼付されているラベルに記載された注意に従ってください。

TPMS (タイヤ空気圧モニタリングシステム)

⚠ - 警告 -

TPMS (タイヤ空気圧モニタリングシステム) がタイヤ空気圧の低下を示したときは、4輪すべてのタイヤの空気圧を点検することをお勧めします。

⚠ - 警告 -

TPMS (タイヤ空気圧モニタリングシステム) は、タイヤの定期的な空気圧の点検を不要とするものではありません。また、メンテナンスや安全システムの代わりになるものでもありません。

⚠ - 警告 -

タイヤ空気圧は、タイヤが冷えているときに点検してください。タイヤが温まっているときにタイヤ空気圧を点検しなければならないときは、指定空気圧よりも高いときでも、タイヤ空気圧を下げないでください。タイヤが冷えているときに、再度点検してください。



- 警告 -

TPMS (タイヤ空気圧モニターリングシステム) は、タイヤ空気圧の突然の低下 (バーストなど) を検知することはできません。この場合は、注意してブレーキ操作を行ない、急ハンドルを避けて、停車してください。



- 警告 -

TPMS (タイヤ空気圧モニターリングシステム) はタイヤ空気圧が低下したときにのみ、警告を行ないます。タイヤに空気を充填することはできません。



- 警告 -

タイヤ空気圧が低下していると、消費電力量が増加し、タイヤの寿命を短くし、走行安全性に影響を与えるおそれがあります。

車輪に装着されている速度センサーを利用してタイヤ空気圧の状態をモニターする、TPMS (タイヤ空気圧モニターリングシステム) が装備されています。

タイヤ空気圧が適正なとき

タイヤ空気圧の低下が検知されていないときは、関連するディスプレイ画面に車両のボディのみが表示されます。

タイヤ空気圧が低下したとき

1 個または複数のタイヤの空気圧が低下した場合は、メーターパネルの (⚠) 警告灯、マルチファンクションディスプレイの関連する警告メッセージ、および警告音により、運転者に警告を行ないます。

モーターを停止したときも警告は表示され、リセット作業が実行されるまで、表示されたままになります。

充電



- 警告 -

感電や機器の損傷の危険性を下げるため、車両の清掃を行なうときには、特別な注意が必要です。充電設備側の電源供給ソケット、および車両側の充電ポートから必ず充電機器を抜いてください。



- 注意 -

外気温が -30°C 以下の場合には充電しないでください。充電時間が長くなったり、充電機器が損傷するおそれがあります。



- 注意 -

外気温が -40°C 以下になる場所に、車両や充電ケーブルを放置しないでください。車両や充電ケーブルが損傷するおそれがあります。



- 注意 -

外気温が低いときは、充電ケーブルが硬くなります。そのため充電ケーブルに大きな力を加えないよう注意してください。充電ケーブルを損傷するおそれがあります。



- 注意 -

高電圧バッテリーを充電するために、汎用の発電機を使用しないでください。充電状況が変動する原因になるおそれがあるとともに、電圧が不十分なおそれがあり、車両のシステムの損傷につながります。



- 注意 -

不適切な、または損傷したソケットや充電ケーブルを使用して高電圧バッテリーを充電したり、以降に記載されている充電手順に従わないと、回路のショートや火災の原因になったり、車両の電気システムが損傷する危険性があります。



- 注意 -

充電インジケーターがゼロ、またはゼロに近い状態で、高電圧バッテリーを数日間にわたって放置しないでください。高電圧バッテリーが損傷するおそれがあります。



- 注意 -

高電圧バッテリーの充電レベルが低下するまで、再充電を待つ必要はありません。高電圧バッテリーの性能は、定期的に充電することで最適化されます。



- 注意 -

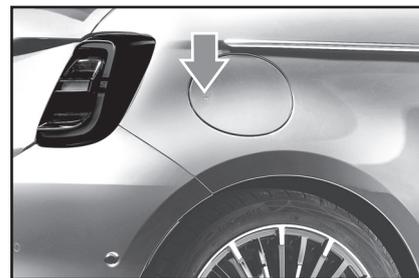
高電圧バッテリーの温度が高いときや低いときは、高電圧バッテリーの充電時間が長くなることがあります。



- 注意 -

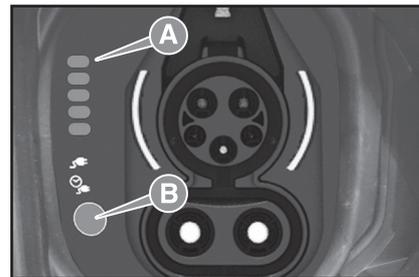
充電中、特に急速充電の間は、高電圧バッテリーの冷却機器が作動します。この作動の間に音が発生するのは正常なことです。

車両の充電ポート



充電ポートのフラップを開くと充電ポートがあります。上図の矢印部分を押し、充電ポートのフラップが開きます。

充電ポートのLED



充電ポートの横には複数のLED^Aがあります。LEDは、3種の色およびそれぞれの点滅内容で、以下のように充電状態を示します。

色

充電状態

青色 スケジュール充電を待機していることを示しています。

緑色で点滅 充電が行なわれています。

緑色で点灯 充電が完了したことを示しています。

赤色で点滅 充電システムに不具合がある、または充電作動に不具合がある(例えば、充電ケーブルは車両の充電ポートに接続されているが、まだ電源コンセントに充電ケーブルが接続されていない)ことを示しています。

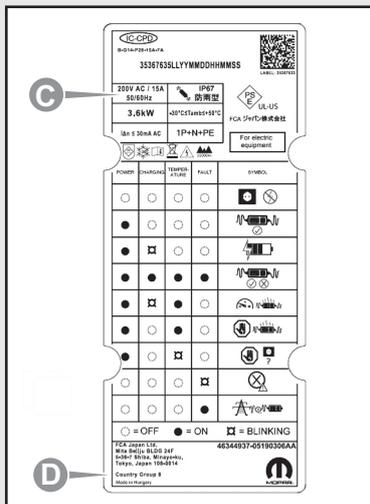


- 警告 -

車両の充電ポートに充電ケーブルを接続した後にすべてのLEDが消灯する場合は、作動中に不具合が発生している可能性があります。この場合は、スイッチ **⑤** を押し、充電ケーブルを外した後に再接続してください。



- 警告 -

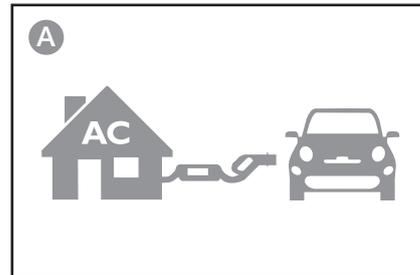


車両に付属している充電ケーブルのみを使用してください。充電コントロールユニットにある「国グループ」**①**を示しているラベル、および電流値 (Ampere : アンペア) **②**と「使用できる電源」項目に記載されている「Mode2」ケーブルの種類を参照してください。

充電ケーブルの種類

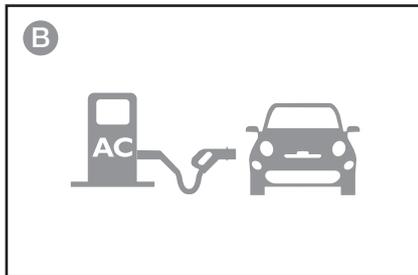
充電には、以下のような種類のケーブルを使用できます。

モード2ケーブル (標準装備)



アースされた家庭用電源コンセントから充電できます。この種類のコンセントは、交流電流で充電する際に使用します。「モード2」充電ケーブルは、「IEC 61851、IEC 62752」および「SAE J1772」規格に準拠しています。

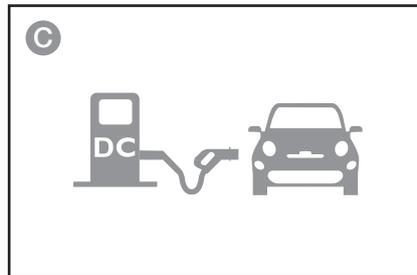
モード3ケーブル



公共充電ステーションおよび家庭用交流電源充電ステーション（ウォールボックス充電ステーション）から充電できます。家庭用電源コンセントよりも充電速度が早くなります。

モード3ケーブルを使用した充電方法については、取扱説明書本編「家庭用充電ステーション（ウォールボックス）からの充電」を参照してください。

モード4ケーブル（急速充電）



DC（直流）と表示のある公共充電ステーションから充電できます。

家庭での交流電源での充電

- 警告 -

充電電流強度の不適切な設定は、家庭用電源コンセントの主電源が過負荷になる、または過熱する可能性があります。他の家庭用コンセントから充電する前に、主電源への充電電流の強度を調整してください。主電源の強度がわからない場合は、最低レベルに設定してください。絶対に延長コードを使用して充電しないでください。

- 警告 -

充電電流レベル（「レベル1」/「レベル2」/「レベル3」など）は、Uconnectを使用してのみ変更できます（別冊「Uconnect」取扱説明書の「車両モード」にある「設定」の項目をご覧ください）。デフォルトの充電レベルは「レベル3」です。国固有のケーブルの種類のリストについては、「「モード2」ケーブルの仕様」表の記載を参照してください。



- 警告 -

設定されたレベルは、交流の家庭用充電（モード2）および交流の公共充電ステーションからの充電（モード3）両方に適用されます。そのため、実際の充電種類に応じて、希望通りのレベルに設定されていることを常に確認してください。



- 警告 -

充電ケーブルと充電ポート間の不適切な接続は、火災につながるおそれがあります。



- 警告 -

正常な作動中は、家庭用電源コンセントが過熱する可能性があります。極端に過熱した場合は、充電が中断され、充電ケーブルの充電コントロールユニット上面にある警告LEDが点灯します。取扱説明書本編「使用できる電源」の「充電システムの不具合」の項目の表を参照してください。



- 警告 -

「モード2」充電ケーブルは、電気エネルギーを消費する他の機器と共用することのない専用回路に接続してください。



- 警告 -

充電コネクタに指や異物を差し込まないでください。



- 警告 -

充電ポートを使用しないときは、充電ポートのフラップを閉じたままにしてください。



- 警告 -

高電圧バッテリーは、認証されているアースされた家庭用コンセント、または公共充電ステーションのみで充電してください。



- 注意 -

外気温が -30°C 以下の場合には充電しないでください。充電時間が長くなったり、充電機器が損傷するおそれがあります。



- 注意 -

外気温が -40°C 以下になる場所に、車両や充電ケーブルを放置しないでください。車両や充電ケーブルが損傷するおそれがあります。



- 注意 -

外気温が低いときは、充電ケーブルが硬くなります。そのため充電ケーブルに大きな力を加えないよう注意してください。充電ケーブルを損傷するおそれがあります。



- 注意 -

高電圧バッテリーを充電するために、汎用の発電機を使用しないでください。充電状況が変動する原因になるおそれがあるとともに、電圧が不十分なおそれがあり、車両のシステムの損傷につながります。



- 注意 -

不適切な、または損傷したソケットや充電ケーブルを使用して高電圧バッテリーを充電したり、以降に記載されている充電手順に従わないと、回路のショートや火災の原因になったり、車両の電気システムが損傷する危険性があります。



- 注意 -

充電インジケーターがゼロ、またはゼロに近い状態で、高電圧バッテリーを数日間にわたって放置しないでください。高電圧バッテリーが損傷するおそれがあります。



- 注意 -

高電圧バッテリーの充電レベルが低下するまで、再充電を待つ必要はありません。高電圧バッテリーの性能は、定期的に充電することで最適化されます。



- 注意 -

高電圧バッテリーの温度が高いときや低いときは、高電圧バッテリーの充電時間が長くなることがあります。



- 注意 -

充電中、特に急速充電の間は、高電圧バッテリーの冷却機器が作動します。この作動の間に音が発生するのは正常なことです。

充電手順



- 警告 -

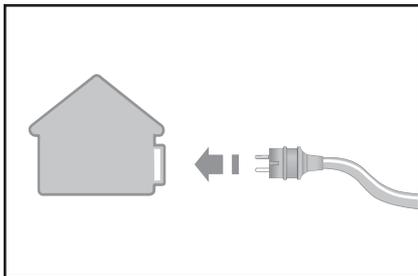
充電ケーブルは、必ず家庭用電源の充電コンセントに最初に接続し、その後には車両の充電ポートに接続してください。

車載されている「モード2」充電ケーブルを交流式充電ポートに接続して、高電圧バッテリーを充電できます。

「モード2」ケーブルの仕様につきましては、取扱説明書本編「使用できる電源」の「モード2」充電ケーブルの項目を参照してください。

充電するためには、以下のように入めます。

1. 車両を安全に駐車します（シフトポジションをPにします）。
2. イグニッション位置をOFFにします。
3. エレクトリックパーキングブレーキを作動させます。
4. ラゲッジルームから、充電ケーブルを取り出します。
5. 充電コネクタや充電ポートに付着しているほこりを取り除きます。

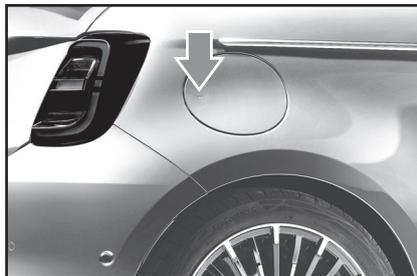


6. 充電ケーブルを伸ばし、交流式充電ポートに接続します。



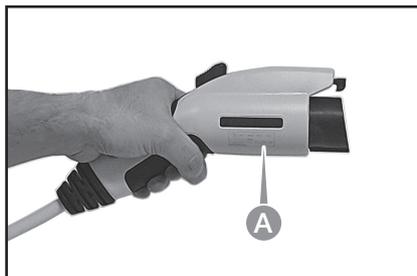
- アドバイス -

家庭用電源コンセントにプラグを接続すると、充電ケーブルの充電コントロールユニットにある4個のLEDが約1秒間点灯します(充電コントロールユニットの起動を示しています)。



7. 上図の矢印部分周辺を押して、充電ポートのフラップを開きます。

8. 充電ポートの保護カバーを取り外します。



9. 充電コネクタ[Ⓐ]のグリップを持ち、保護カバー<装備車>を取り外します。

10. クリック音が鳴ってロックされるまで、充電コネクタを充電ポートに差し込みます。

11. スケジュール充電が設定されていない場合は(取扱説明書本編「充電機能」の項目をご覧ください)、自動的に充電が開始されます。

12. 充電ケーブルの充電コントロールユニットのLEDが点灯していることを確認し、充電システムに不具合がないことを確認します(詳細は、取扱説明書本編「使用できる電源-モード2ケーブル」にある「充電コントロールユニットの充電状態表示」の項目をご覧ください)。

不具合がない場合は、充電ポートの横にあるすべての緑色LEDが短時間点灯し、その後充電状態に応じて緑色に点灯/点滅します。

不具合がある場合は、取扱説明書本編「使用できる電源-モード2ケーブル」にある「充電システムの不具合」の項目をご覧ください。



- 注意 -

ボンネットのロックを解除すると、充電作動が中断し、メーターパネルに関連するメッセージが表示されます。ボンネットを確実に閉じると、充電作動は再開します。



- アドバイス -

高電圧バッテリーの充電に必要な時間は、いくつかの要因により異なります。詳細は、別冊「Uconnect」取扱説明書の「電気」の項目をご覧ください。



- アドバイス -

車内のエアコン予備作動が作動している場合は、バッテリーの充電時間が延長されます。車内を暖房/冷却するために必要な時間は、外気温度により異なります。



- 注意 -

充電ポートの最大消費電力は、お客様の契約内容や使用する充電ケーブルの種類、およびUconnectのメニューで設定した充電レベルにより異なります。



- 注意 -

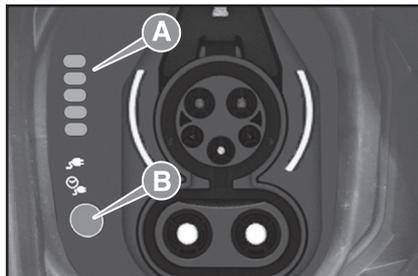
車載されている充電ケーブルおよびStellantisにより推奨されている交換用充電ケーブルのみを使用してください。



- 注意 -

高電圧バッテリーは、地域または国が電気自動車の充電用に推奨している最大電流値に従って充電してください。

充電の完了



充電作動中は、バッテリーの充電レベルに応じて、LED **A** が緑色で点灯/点滅します。充電ポートの横にあるすべてのLEDが緑色で点灯したときは、充電が完了したことを示しています。

「モード2」充電ケーブルの取り外し



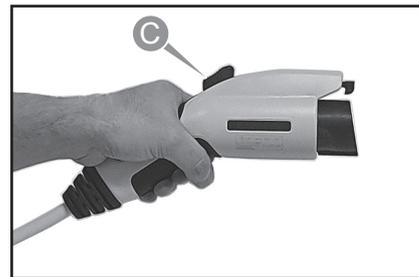
- 警告 -

充電作動中は、充電ケーブルは車両の充電ポートに自動的にロックされます。

ケーブルを取り外して充電を終了するには、以下のように進めます。

1. 車両のドアを解錠します。
2. 充電作動が進行中のときは、充電ポートのスイッチ **C** を押します。

緑色で点滅していたLEDが消灯し、充電ケーブルのロックが解除されます。

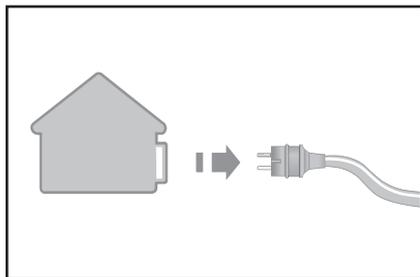




- アドバイス -

仕様により、充電中に充電コネクタにあるスイッチ●を押して保持することでも充電ケーブルのロックが解除されますが、このときはメーターパネルにエラーメッセージが表示されることがあります。

3. 充電コネクタにあるスイッチ●を押します。
4. ケーブルを直接引かないように注意しながら、充電コネクタのグリップを持ち、車両の充電ポートから充電ケーブルを取り外します。



5. 充電コンセントから充電ケーブルを取り外します。

6. 充電ポートの保護カバーを取り付けます。

7. 充電ポートのフラップを閉じて、確実にロックされたことを確認します。

8. 充電ケーブルを正しく巻き取り、充電コネクタに保護カバー<装備車>を正しく取り付けます。

充電ケーブルを巻き取るときは、ケーブルを損傷しないように注意してください。

9. ラゲッジルーム内の収納部に充電ケーブルを収納します。



- 注意 -

充電コネクタを取り外す前に、ドアが解錠されていることを確認してください。ドアが施錠されていると、充電コネクタのロック機構により、充電コネクタを取り外すことができません。

公共充電ステーション(直 流式)での充電手順-モード4



- 注意 -

「急速充電 - モード4」を使用すると、バッテリーの劣化が早まることがあります。



- 注意 -

急速充電が必要ないときは、常に通常(交流式)の充電を行なってください。それにより、車両の最高の性能を維持しながら、バッテリーの最大限の寿命を得ることができます。



- 注意 -

「急速充電 - モード4」の充電時間は、標準的な環境条件(25℃)における、高電圧バッテリーを80%まで充電するときの状態を指します。



- 注意 -

著しい高温下または低温下での充電時間は、高電圧バッテリー制御システムの作動により長くなることがあります。これにより、バッテリーの損傷を防ぐために、バッテリー温度制御が最適化されます。



- 注意 -

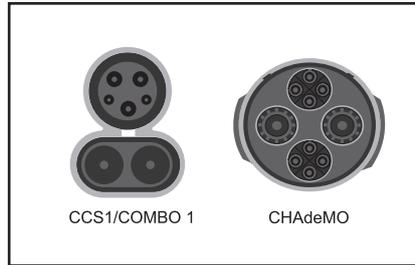
高電圧バッテリーの充電状態が80%を超えると、充電速度が低下します。



- 注意 -

著しい高温下または低温下での充電や急速充電を多く行なっているとき、または「急速充電 - モード4」充電を頻繁に使用しているときやバッテリーの劣化により、バッテリーの充電時間が長くなることがあります。充電速度の低下は、バッテリーを保護するために必要なものです。

直流式公共充電ステーションの充電ケーブルを接続して、高電圧バッテリーを充電できます。直流の充電ステーションでは、充電時間が短くなります。



この車両は、CCS1/COMBO1 充電およびCHAdeMO 充電のいずれにも対応しています。

CHAdeMO 充電を行なうためには、車載のCHAdeMO アダプターを使用します。

CHAdeMO アダプター



CHAdeMO 充電ステーションに接続するときは、ラゲッジルーム内のバッグ<装備車>からCHAdeMO アダプターを用意します。



- アドバイス -

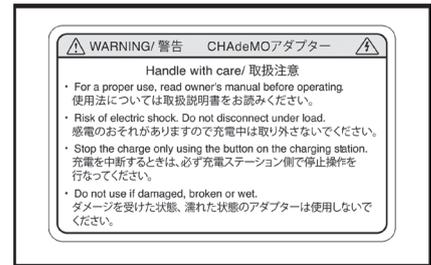
CHAdeMO 充電ステーションを利用するときは、最初に充電ステーションの充電ケーブルにCHAdeMOアダプターを接続し、その後に充電ステーションで料金を払います。



- 注意 -

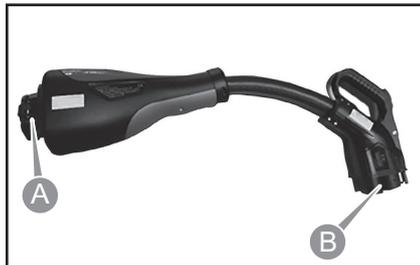
本車両に車載されているCHAdeMOアダプターは、本車両専用です。

CHAdeMO アダプターには、下記の警告ラベルが貼付されています。



充電するためには、以下のように進めます。

1. 車両を安全に駐車します (シフトポジションをPにします)。
2. エレクトリックパーキングブレーキを作動させます。
3. イグニッション位置をOFFにします。



Ⓐ CHAdeMO ポート側コネクタ

Ⓑ CCS1/COMBO1 ポート側コネクタ

4. ラゲッジルーム内のバッグから CHAdeMO アダプターを取り出します。
5. 充電コネクタや充電ポートに付着しているほこりを取り除きます。



6. 上図の矢印部分周辺を押して、充電ポートのフラップを開きます。
7. 充電ポートの保護カバーを取り外します。
8. 充電ステーションの充電ケーブルに CHAdeMO アダプターの Ⓐ 側コネクタを接続し、その後に車両の充電ポートに CHAdeMO アダプターの Ⓑ 側コネクタを接続します。
9. 5個のLEDが短時間点灯し、プラグが正しく差し込まれたことを示します。
必要場合は、公共充電ステーションを作動させてください。充電ステーションを利用する場合は、メーカーの指示や警告に従ってください。



- 注意 -

アダプターを車両の充電ポートに接続すると、LEDが短時間緑色に点灯したあと、2個のLEDが赤色に点滅します。その後充電ステーションの作動を検知すると、再度緑色に点灯します。

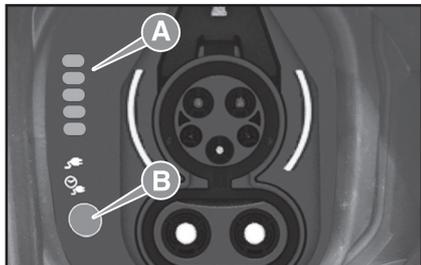


- 注意 -

アダプターを車両の充電ポートに接続してから充電ステーションの作動を検知するまでは、約40秒かかります。この間は、メーターパネルにエラーメッセージが表示されることがあります。

10. 充電が開始されると、充電ポートのLEDが緑色で点灯し、充電ポートに接続した Ⓑ 側コネクタがロックされます。
11. 車両から離れる場合は、車両を施錠します。

充電の完了



充電作動中は、バッテリーの充電レベルに応じて、LEDが緑色で点灯/点滅します。

充電ポートの横にあるすべてのLEDが緑色で点灯したときは、充電作動が終了したことを示しています。

「モード4」ケーブルの取り外し

充電を完了させるためには、以下のように入めます。

1. 車両のドアを解錠することにより、充電ケーブルもロック解除されます。
2. 充電作動が進行中のときは、充電ステーション側で充電停止の操作を行ないます。



- 注意 -

充電を中断するときは、必ず充電ステーション側で停止操作を行なってからケーブルを取り外してください。

3. 車両の充電ポートと充電ステーションの充電ケーブルからCHAdemoアダプターを取り外します。
4. CHAdemoアダプターのコネクタに保護カバーを正しく取り付けます。
5. CHAdemoアダプターをバッグ<装備車>に入れて、ラゲッジルーム内に収納します。
このとき、バッグの下側にCHAdemoポート側コネクタを、バッグの上側にCCS1/COMBO1ポート側コネクタを配置して収納します。
6. 公共充電ステーションに充電ケーブルを戻します。
7. 車両の充電ポートに保護カバーを取り付けます。
8. 充電ポートのフラップを閉じて、確実にロックされたことを確認します。

タイヤリペアキット <装備車>



- 警告 -

タイヤリペアキット容器のラベルには、タイヤリペアキットを使用するに当たって必要とされる情報や注意事項が記載されています。不適切な使用を避けるため、使用する前に容器のラベルに記載された内容を注意してお読みください。タイヤリペアキットは大人のみが取り扱うようにして、子供には使用させないでください。



- 警告 -

絶対に、80km/h以上の速度で走行しないでください。急加速や急ブレーキは避けてください。タイヤリペアキットによる補修は一時的なものです。できるだけ早く、専門業者やフィアット正規ディーラーでタイヤの点検および修理を行なってください。



- 警告 -

タイヤリペアキットを使用する前に、タイヤが著しく損傷していないことやリムが損傷していないことを確認してください。損傷している場合は、タイヤリペアキットを使用せず、フィアット正規ディーラーに連絡してください。



- 警告 -

タイヤからパンクの原因となった異物などを取り除かないでください。また、エアポンプは、20分以上連続して作動させないでください。過熱の危険があります。



- 注意 -

シーラント剤は、-40℃~50℃の温度での使用に適しています。また、シーラント剤には使用期限があります。使用期限を過ぎたシーラント剤は交換してください。



- 注意 -

タイヤのトレッド面での、直径が約6mm以下の損傷について、タイヤリペアキットでタイヤの補修を行うことができます。



- 注意 -

タイヤリペアキットを使用したときは、シーラント剤容器やラベルを補修業者に示し、タイヤリペアキットを使用してタイヤが補修されていることを必ず伝えてください。

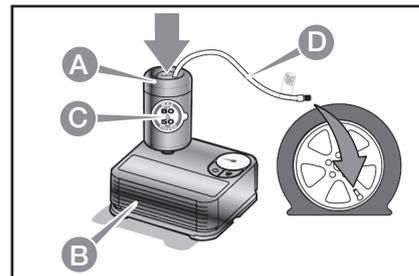


- 注意 -

車載されているタイヤリペアキットが以下に記載するタイプと異なるときは、リペアキットに添付された、またはボトルやエアポンプに貼付された手順書および注意事項を参照して作業を行ってください。

概要

タイヤリペアキットは、ラゲッジルーム内の専用収納部に収納されています。



タイヤリペアキットには、以下の物が含まれています。

- ・シーラント剤を注入するためにホース④およびタイヤ補修後に視界内(ダッシュボードなど)に貼付する「MAX.80km/h」と記載されたラベル③を備えた、シーラント剤ボトル①。
- ・エアポンプ②。

タイヤリペアキットを使用する 前の準備

1. 道路からできるだけ離れ、安全にタイヤを補修できる、通行車両からの危険がない場所に停車してください。退避スペースや駐車場、サービスエリアのパーキングなどに駐車するようにしてください。

なるべく平坦で傾いていなく、十分な広さがある場所に駐車することをお勧めします。

2. イグニッション位置をOFFにして、エレクトリックパーキングブレーキを作動させてください。

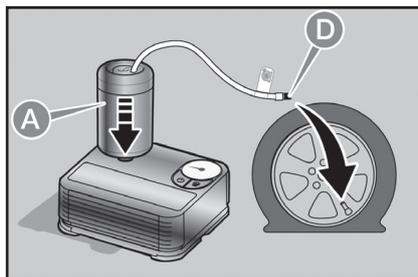
3. シフトポジションを**P**または**R**にしてください。

4. 車外に出る前に安全反射ジャケットを着用します（法規で規定されている場合）。

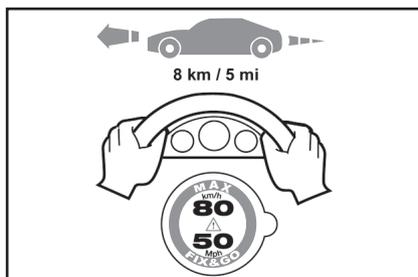
5. 乗員が車外に出て、交通を妨げず、けがをする危険性のない安全な場所に退避していることを確認してください。

タイヤに空気とシーラント剤 を入れる

1. エレクトリックパーキングブレーキを作動させます。



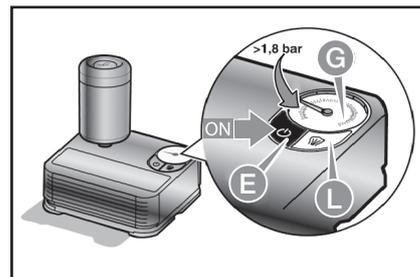
2. シーラント剤ボトル**A**を、エアポンプのホルダーに押し込みます。



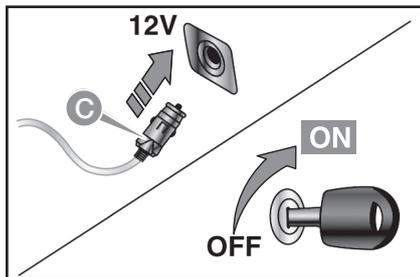
3. 制限速度が表示されたステッカーを取り外し、明らかに視認できる位置に貼付します。

4. タイヤバルブのキャップを緩めて取り外し、ホース**D**を取り出して、タイヤバルブのリングナットに締め付けます。

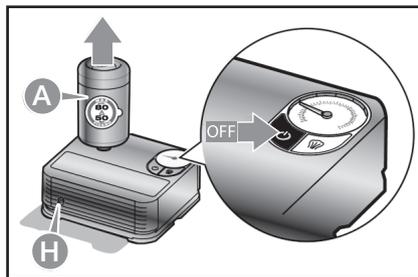
300mlの容器が搭載されている場合は、ホース**D**のハウジングには引き抜きを容易にする、脱着式のリングが装着されています。



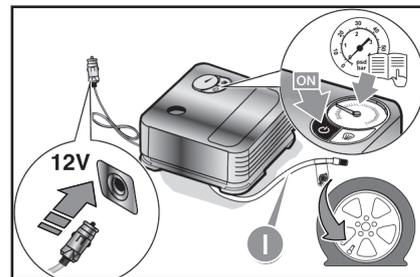
5. エアポンプのスイッチ**E**がOFFの状態（押し込まれていない状態）であることを確認します。



6. 12V電源ソケットに電源プラグ③を差し込み、イグニッションをRUNにします。
7. スイッチ⑤を押し込んで、エアポンプを作動させます。
8. 取扱説明書本編「テクニカルデータ」章の「ホイールおよびタイヤ」の項目に記載されている空気圧まで、タイヤに空気を入れます。



9. エアポンプを作動させてから約15分以内に、空気圧が1.8bar (26psi) 以上にならないときは、エアポンプを停止し、タイヤバルブからホースを外して、電源ソケットから電源プラグを外します。さらに、エアポンプ④からシーラント剤ボトル①を取り外します。
10. タイヤに均一にシーラント剤が配分されるように約10m車両を前進させます。
11. 安全な状態で停車し、エレクトリックパーキングブレーキを作動させます。

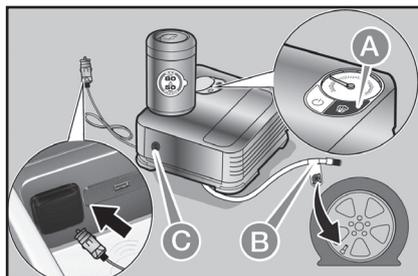


12. 黒色のホース①をタイヤバルブに接続し、再度エアポンプを作動させてタイヤに空気を入れます。
13. エアポンプを作動させてから約15分以内に空気圧が1.8bar (26psi) 以上にならないときは、走行せずにフィアット正規ディーラーに連絡してください。
14. 空気圧が1.8bar (26psi) 以上の場合はエアポンプなどを車両から外して、約8kmほど走行した後に、安全で、作業に適した場所に停車します。エレクトリックパーキングブレーキを作動させて、エアポンプの黒色ホースを使用して、タイヤの空気圧を再度測定します。
空気圧が1.8bar (26psi) 以下の場合は、走行せずにフィアット正規ディーラーに連絡してください。

15. 空気圧が1.8bar (26psi) 以上の場合は、適切な空気圧に調整して、ただちに走行を再開し、フィアット正規ディーラーまで注意しながら走行します。

タイヤ空気圧の点検と調整

エアポンプは、タイヤ空気圧の測定と、必要な場合はタイヤ空気圧の調整に使用できます。



エアポンプ底部に収納されている（黒色）ホースを取り出し、ホース先端のコネクター[Ⓐ]をタイヤのバルブに接続します。

タイヤに空気を入れる

電源プラグを電源ソケットに差し込み、イグニッション位置をONにして、エアポンプのスイッチ[Ⓑ]を押します。

タイヤから空気を抜く

エアリリーススイッチ[Ⓒ]を押します。

バルブの交換

- 警告 -

適切に行われていない、またはシステムの技術仕様を考慮に入れていない電気システムの改造や修理は、不具合の原因になり、火災の危険があります。

- 警告 -

ハロゲンバルブ<装備車>には圧力がかかったガスが入っているため、損傷した際は破裂し、周囲にガラスの破片が飛び散ることがあります。

- 警告 -

バルブの交換は、モーターが停止していて、周囲の交通状況を妨げない、安全に交換作業を行なうことができる場所でのみ行なってください（取扱説明書本編「始動と走行」章の「駐車するとき」の項目をご覧ください）。また、火傷を防ぐために、モーターが冷めていることを確認してください。



- 注意 -

ハロゲンバルブ<装備車>を取り扱うときは、金属部分のみを持つようにしてください。指でバルブのガラス部分に触れると、光量が減少し、バルブの寿命も短くなります。誤って触れたときは、アルコールを湿らせた布で汚れを拭き取り、そのまま乾かしてください。



- 注意 -

可能な場合は、バルブの交換はフィアット正規ディーラーで行なうようにしてください。車両の安全性を確保し、法規に適合のさせるためには、正しく作業を行ない、正しい方向に車外ランプを調整することが必要です。

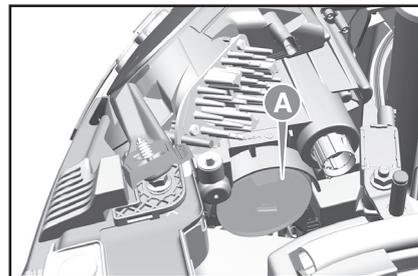
サイド方向指示灯

サイド方向指示灯はLEDです。交換はフィアット正規ディーラーに依頼してください。

ロービームヘッドライト/ハイビームヘッドライト

ロービームヘッドライト/ハイビームヘッドライトにLEDが装備されている場合は、交換はフィアット正規ディーラーに依頼してください。

ロービームヘッドライト/ハイビームヘッドライトにハロゲンバルブが装備されている場合は、交換作業は以下のように進めてください。



1. モータールームから作業を行ない、保護ラバーキャップ^Aを取り外します。
2. 横に押し倒してから、バルブホルダーを引き抜きます。
3. バルブホルダーからバルブを引き抜いて取り外し、新しいバルブを押し込んで、取り付けます。
4. バルブホルダーを取り付けて、正しく固定します。
5. 保護ラバーキャップを取り付けます。

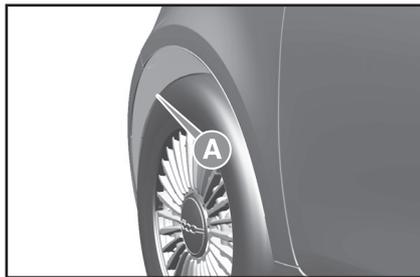
車幅灯 / デイタイムランニングライト (DRL)

車幅灯、デイタイムランニングライト (DRL) の交換はフィアット正規ディーラーに依頼してください。

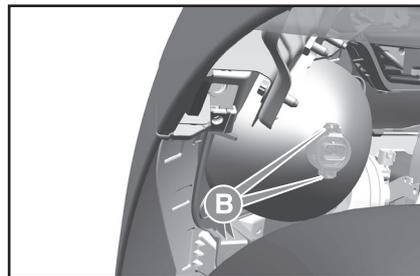
フロント方向指示灯

フロント方向指示灯にLEDが装備されている場合は、交換はフィアット正規ディーラーに依頼してください。

フロント方向指示灯にハロゲンバルブが装備されている場合は、交換作業は以下のように進めてください。



1. ホイールアーチ **A** のビス (6ヶ所) を取り外します。



2. フィン **B** を押して、バルブホルダーを取り外します。
3. バルブホルダーのタブを押しながら、バルブを引き抜きます。
4. 新しいバルブを押し込んで、取り付けます。
5. バルブホルダーを取り付けて、正しく固定します。
6. ホイールアーチのビス (6ヶ所) を締め付けて元に戻します。

リアライトユニット

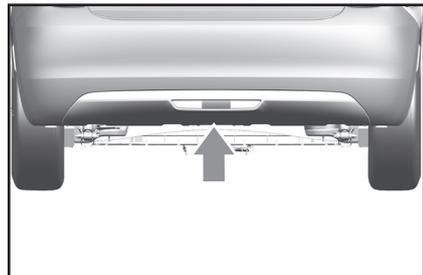
リアライトユニットには、以下が含まれています。

- ・ テールランプ
- ・ ブレーキランプ
- ・ リア方向指示灯

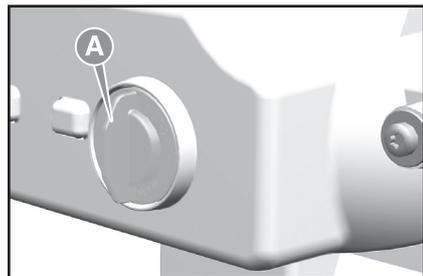
リバースランプとリアフォグランプは、リアバンパーに装着されています。

テールランプ/ブレーキランプ、ハイマウントストップランプ、リア方向指示灯はLEDです。交換はフィアット正規ディーラーに依頼してください。

リバースランプ/リアフォグランプ



リバースランプ/リアフォグランプを交換するためには、リアバンパー下部から作業を行ないます。



1. バルブホルダー^Aを反時計回りにまわして、引き出します。

2. リバースランプを交換するためには外側のバルブホルダーを緩めます。

リアフォグランプを交換するためには中央のバルブホルダーを緩めます。

3. バルブを取り外して、交換します。

4. バルブホルダー^Aを時計回りにまわして、取り付けます。

ヒューズの交換



- 警告 -

交換したヒューズが再度切れたときは、フィアット正規ディーラーに連絡してください。



- 警告 -

ヒューズを交換するときは、より高いアンペアのヒューズに交換しないでください。火災の危険があります。



- 警告 -

システム全体の保護を行なっているヒューズ（メガヒューズ、ミディヒューズ、マキシヒューズ）が切れた場合は、フィアット正規ディーラーに連絡してください。



- 注意 -

ヒューズを、金属ワイヤーや類似のものに交換しないでください。



- 警告 -

安全システム（エアバッグ、ブレーキ）や駆動システム（モーター、トランスミッション）、またはステアリングシステムのシステム全体の保護を行っているヒューズが切れた場合は、フィアット正規ディーラーに連絡してください。

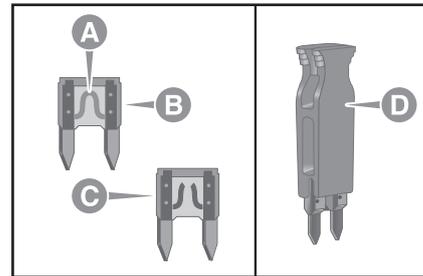


- 注意 -

記載されているヒューズ以外のヒューズの交換や該当する装備については、フィアット正規ディーラーにご連絡ください。

ヒューズは電気システムの保護を行いません。システムに不具合や異常な作動が発生した場合は、ヒューズが作動（切断）します。

システムが作動しないときは、該当するヒューズの状態を確認してください。フィラメント部分 **A**（心線部分）が完全でなければなりません。そうでない場合は、切れたヒューズを、同じアンペア（同じ色）のヒューズと交換してください。



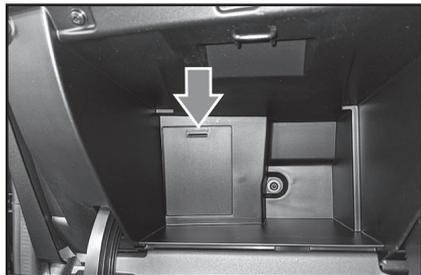
Bが正常なヒューズで、**C**がフィラメント部分が損傷したヒューズです。

ヒューズの交換を行なう場合は、ダッシュボード左側ヒューズボックスのカバー裏側に装備されているヒューズリムーバー **D**を使用してください。

保護ヒューズの確認を行なうためには、以降のページにある表を参照してください。

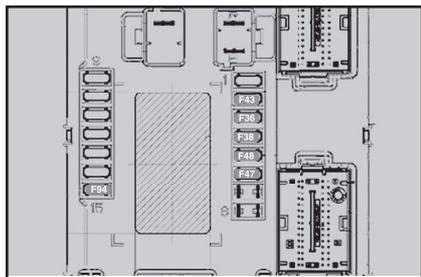
ヒューズの交換については、フィアット正規ディーラーに連絡してください。

ダッシュボードのヒューズボックス



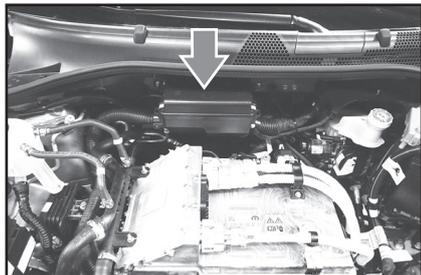
ヒューズボックスは、グローブボックス内部に装備されています。

タブを押し下げながら、カバーを外します。



ヒューズ	アンペア	装備
F36	15	エアコン、フィアットLink&Drive、USBポート、Uconnectディスプレイ、エレクトリックパーキングブレーキ、EOBD (故障診断) ポートへの電力供給
F38	20	テールゲートの解錠
F43	20	フロントウインドーウォッシャーポンプ
F47	20	フロントパワーウインドー (運転席側)
F48	20	フロントパワーウインドー (助手席側)
F94	15	12V電源ソケット

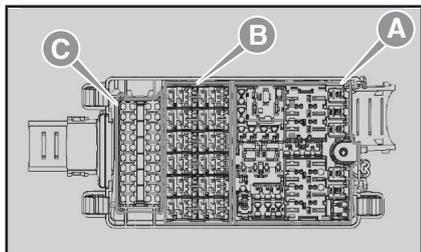
モータールーム内のヒューズボックス



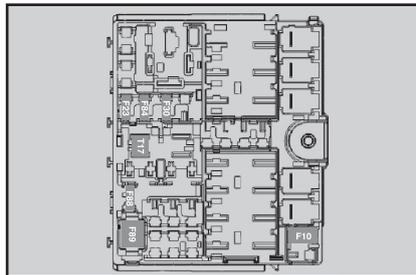
-注意-

モータールームを洗浄する必要がある場合は、高圧の水がモータールーム内のヒューズボックスに直接当たらないようにしてください。

ヒューズボックスは、DC/DCコンバーターの裏側に装備されています。

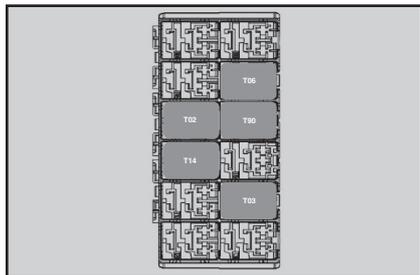


ヒューズボックス A



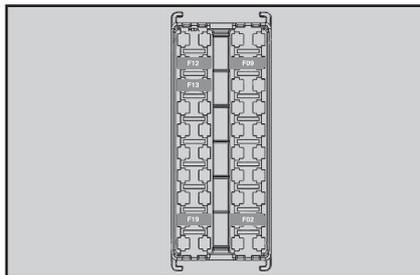
ヒューズ	アンペア	装備
F10	10	ホーン
F23	20	シートヒーター<装備車>
F30	20	フロントウインドーヒーター<装備車>
F84	20	12V電源ソケット(ラゲッジルーム内)
F88	7.5	ドアミラーヒーター<装備車>
F89	20	リアデフロスター
T17	30	電動ドアミラー/ドアミラーヒーター

ヒューズボックス B



ヒューズ	アンペア	装備
T02	30	シートヒーター<装備車>
T03	20	ホーン
T06	30	シートヒーター<装備車>
T14	20	12V電源ソケット(ラゲッジルーム内)
T90	30	フロントウインドーヒーター<装備車>

ヒューズボックス C



ヒューズ	アンペア	装備
F02	10	ドアロック (運転席側)
F09	10	ドアロック (助手席側)
F12	15	サウンドシステムアンプ<装備車>
F13	20	サンルーフ<装備車>、ソフトトップ<装備車>
F19	15	サウンドシステムアンプ<装備車>

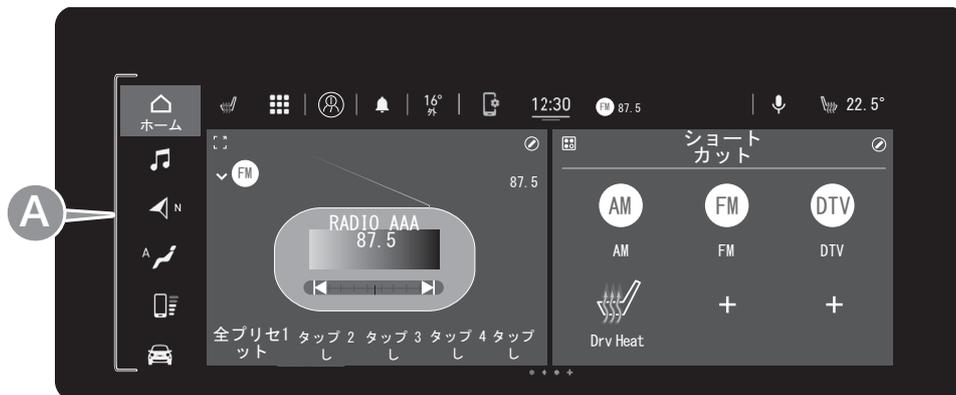
油脂類の補充量

	容量	指定銘柄
EDM(エレクトロニックドライブモジュール)(ℓ)	0.67	PETRONAS IONA INTEGRA PLUS FCA
冷却システム(ℓ)	6.5	PARAFLU UP 蒸留水で50%に希釈して使用(*)
油圧ブレーキ回路(kg)	0.8	TUTELA TOP EVO
ウインドーウォッシャー液(ℓ)	1.5	PETRONAS DURANCE SC 35を蒸留水で希釈して使用

(*) 過酷な気候状況で車両を使用するときは、60%のPARAFLU UPと40%の蒸留水を混合したものを使用してください。

Uconnect

ディスプレイのグラフィックボタン



グラフィックボタン	作動内容
🏠 ホーム	ホーム画面の表示
🎵 メディア	メディアモードの作動 (利用可能なメディアソースの選択、オーディオ設定)
📍 ナビゲーション	ナビゲーションモードの作動
A 🪑 コンフォート	エアコン設定 (送風設定、温度設定) およびシートヒーター設定<装備車> フロントデフロスターの作動、リアデフロスターの作動
📞 電話	電話モードの作動
📲 / 📱 Android Auto/Apple CarPlay	Android Auto/Apple CarPlayの作動
🚗 車両	電気自動車メニューの表示、コントロールメニューの表示 車両設定の表示

ステアリング裏側のスイッチ



スイッチ	作動内容
スイッチA(ステアリング裏左側のスイッチ)	
上側のスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ・ より高い周波数へラジオ放送局をサーチする ・ 次のトラックを選択する
中央のスイッチ	ラジオ、DTV<装備車>、使用可能なメディアモード(USBデバイス、Bluetoothデバイス)の間でソースを切り替える
下側のスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ・ より低い周波数へラジオ放送局をサーチする ・ 再生中のトラックの最初に戻る/前のトラックを選択する

スイッチ	作動内容
スイッチB(ステアリング裏右側のスイッチ)	
上側のスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> 軽く押す：一段階音量を上げる 押しして保持する：音量を上げる
中央のスイッチ	消音(ミュート/ポーズ)機能の作動/解除(オーディオトラックの再生、ラジオ、実行中のアプリ、着信音)
下側のスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> 軽く押す：一段階音量を下げる 押しして保持する：音量を下げる

電源のオン / オフ



電源をオフにする

ダイヤル **A** を約 1 秒間押してから放します。

電源をオンにする

ダイヤル **A** を軽く押します。

音量を調整する

ダイヤル **A** を前方に回すと音量が上がります。

ダイヤル **A** を後方に回すと音量が下がります。

ミュート機能を作動させる

ダイヤル **A** を軽く押すと、ミュート機能をオン/オフできます。

タッチスクリーン機能

Uconnectのディスプレイはタッチスクリーン機能を備えています。表示されたグラフィックボタンにタッチして各機能进行操作します。

選択を確定する：

【OK】にタッチするか、必要な選択項目にチェックマークを表示させます。一部の機能や設定は、確認音が鳴ります。

前の画面に戻る：

【戻る】にタッチするか、 にタッチします。

ホーム画面に戻る：

ホームグラフィックボタンにタッチします。

タッチスクリーン機能は、音楽トラック、電話番号、設定などの利用可能なリストにアクセスできます。

画面上を指でなぞると、リストや選択項目をスクロールすることができます。

選んだ項目やボタンにタッチすると、その項目が選択されたり、ボタンに関連する機能が実行されます。

USBポート

車内には、以下の2箇所にUSBポートを備えています。



エアコンパネル下部



センターコンソールの小物入れ内

センターコンソールの小物入れ内のUSBポート **B** は充電専用です。

Apple CarPlayおよびAndroid Auto

Apple CarPlayとAndroid Autoを有効にするには、互換性のあるスマートフォンを車のUSBポートに接続します。

Apple CarPlayはワイヤレスモードでも接続できます。

スマートフォンの内容が自動的にUconnectシステムのディスプレイに表示され、Uconnectシステム上でアプリケーションが実行されます。



- アドバイス -

Apple CarPlay/Android Autoで携帯電話を接続しているときは、2台同時使用の機能は使用できません。

車両モード

グラフィックボタン【】(車両)にタッチすると、以下のメニューにアクセスできます。

- ・ **【電気自動車】**
- ・ **【コントロール】**
- ・ **【設定】**

【電気自動車】

【電気自動車】の項目には、以下のサブメニューがあります。

・ **【出力フロー】**

電気モーターで消費・回生された電力およびエアコンの消費電力が図示されます。

・ **【運転履歴】**

15分前まで、または過去7日間に消費・回生された電力を表示します。

・ **【予定】**

高電圧バッテリーの充電予約曜日・時間およびエアコンの作動予約曜日・時間<装備車>が設定できます。

・ **【充電設定】**

現在のバッテリー残量を表示したり、家庭での充電レベルを5段階に設定できます。

高電圧バッテリーの充電予約

スケジュールの設定

1. Uconnect を作動させ、車両モードから「電気自動車→予定」を選択します。スケジュール画面が表示されます。

予定#1- 曜日	充電	01:35PM - 03:00PM	日	月	火	水	木	金	土	<input checked="" type="checkbox"/>
予定#2- 曜日	エアコン	12:00PM	日	月	火	水	木	金	土	<input checked="" type="checkbox"/>
予定#3- 曜日	空き		日	月	火	水	木	金	土	<input type="checkbox"/>
次回予定	充電火 01:35PM - 03:00PM エアコン水 12:00PM									

2. 設定するスケジュール(【予定#1】～【予定#3】)にタッチします。

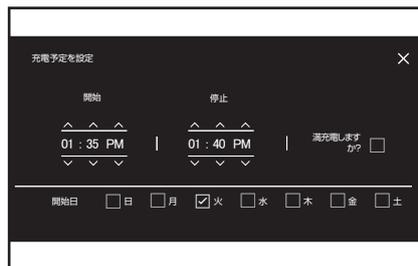


- アドバイス -

スケジュールは、エアコンの作動予約を含めて3通り設定できます。



3. 【充電予定を設定】**A**にタッチします。



4. 希望の開始時間、停止時間および開始日を設定します。

満充電まで充電を継続する場合は、【満充電しますか?】にタッチしてチェックマークを表示させます。この場合は終了時間は選択できなくなります。

5. ディスプレイ右上の【×】にタッチします。

6. 確認メッセージが表示されたら、【はい】にタッチします。

スケジュールが保存されます。

保存されたスケジュールを有効にするには、スケジュール画面右側のチェックボックスにタッチしてチェックマークを表示させます。

スケジュール充電の方法

希望のスケジュール(最大3通り)を設定して有効にした後、「家庭での交流電源での充電」、「家庭用充電ステーション(ウォールボックス)からの充電」(取扱説明書本編参照)、「公共充電ステーション(交流式)での充電」(取扱説明書本編参照)に示されている充電手順に従って、充電ケーブルを接続します。

選択した時間に充電が始まります。

エアコンの予約作動<装備車>

Uconnectから予約設定する

Uconnectでエアコンの予約作動を設定します。

車両が施錠されている状態であれば、設定した時間にエアコンが作動を開始し、イグニッション位置がRUNになります。エアコンの作動中は、イグニッション位置はRUNのままになります。

1. Uconnectを起動させ、車両モードから「電気自動車→予定」を選択します。スケジュール画面が表示されます。

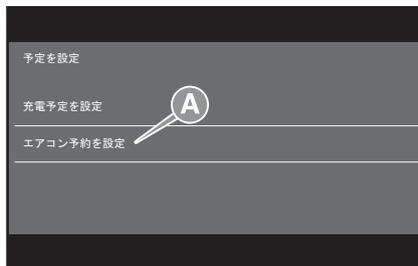
予定#1- 曜日	充電	01:35PM - 03:00PM	日	月	火	水	木	金	土	<input checked="" type="checkbox"/>
予定#2- 曜日	エアコン	12:00PM	日	月	火	水	木	金	土	<input checked="" type="checkbox"/>
予定#3- 曜日	空き		日	月	火	水	木	金	土	<input type="checkbox"/>
次回予定	充電	火, 01:35PM - 03:00PM								
	エアコン	水, 12:00PM								

2. 設定するスケジュール(【予定#1】～【予定#3】)にタッチします。



- アドバイス -

スケジュールは、車両の充電予約を含めて最大3通り設定できます。



3. 【エアコン予約を設定】**A**にタッチします。

エアコン予定を設定		×
車両が電源に接続されている場合、車内の状態を整えるために、コネクセントの電力に添えてバッテリーが使用できます。		出発時刻
バッテリーが40%未満になると エアコン予約に車両の 事前調整を許可する。		<input type="checkbox"/>
リピート <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 月 <input checked="" type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土		01 : 40 PM

4. 希望の開始時間、および利用する曜日を設定します。

予約作動を繰り返し使用する場合は、【リピート】にタッチしてチェックマークを表示させます。



- アドバイス -

バッテリー電圧が40%未満のときもエアコンを作動させる場合は、【バッテリーが40%未満になるとエアコン予約に車両の事前調整を許可する。】にタッチしてチェックマークを表示させます。

5. ディスプレイ右上の【×】にタッチします。

6. 確認メッセージが表示されたら、【はい】にタッチします。

スケジュールが保存されます。

保存されたスケジュールを有効にするには、スケジュール画面右側のチェックボックスにタッチしてチェックマークを表示させます。

【コントロール】

【コントロール】の項目では、以下の設定が行なえます。

- ・【画面OFF】
- ・【自動防眩ミラー】<装備車>
- ・【リアビューカメラ】<装備車>

【設定】

【設定】の項目では、車両の設定が行なえます。

ウィジェット

ホーム画面には、Uconnectの主要機能の概要が表示される「ウィジェット」があります。

ウィジェットの編集

ウィジェットの入れ替えや削除を行なうためには、ウィジェット右上にある【】ボタンにタッチします。

ウィジェットを追加するためには、空いているウィジェットの【】にタッチして、リストから希望のウィジェットを選択します。

ページの追加、並び替え、削除

一番右端のページを表示させて、以下のいずれかにタッチします。

【ページの追加】

レイアウト（2個のウィジェット、または3個のウィジェットを表示させるか）を選択すると、ページが追加されます。

【ページ並び替え】

ページのサムネイルが表示されます。移動させるページを左右にスワイプします。

【ページ消去】

消去するページの【】にタッチします。



- アドバイス -

ウィジェットやページのカスタマイズは、車両が停止しているときのみ操作できます。走行中にカスタマイズ操作を行なおうとしたり、カスタマイズ操作中に走行を再開しようとする、Uconnectディスプレイに警告メッセージが表示され、操作が終了します。

ホイールおよびタイヤ

冷間時のタイヤ空気圧

タイヤが温まっているときは、タイヤ空気圧を推奨空気圧より0.3bar高くしてください。スノータイヤでは、標準タイヤよりも0.2bar高くしてください。

ただし、タイヤが冷めたときに再度空気圧を確認してください。

タイヤ	最大積載時以外		最大積載時	
	フロント	リア	フロント	リア
185/65 R15 88T	2.4bar	2.3bar	2.4bar	2.5bar
195/55 R16 91V	2.4bar	2.3bar	2.4bar	2.5bar
205/45 R17 88V	2.4bar	2.3bar	2.4bar	2.5bar

Stellantisジャパン株式会社